

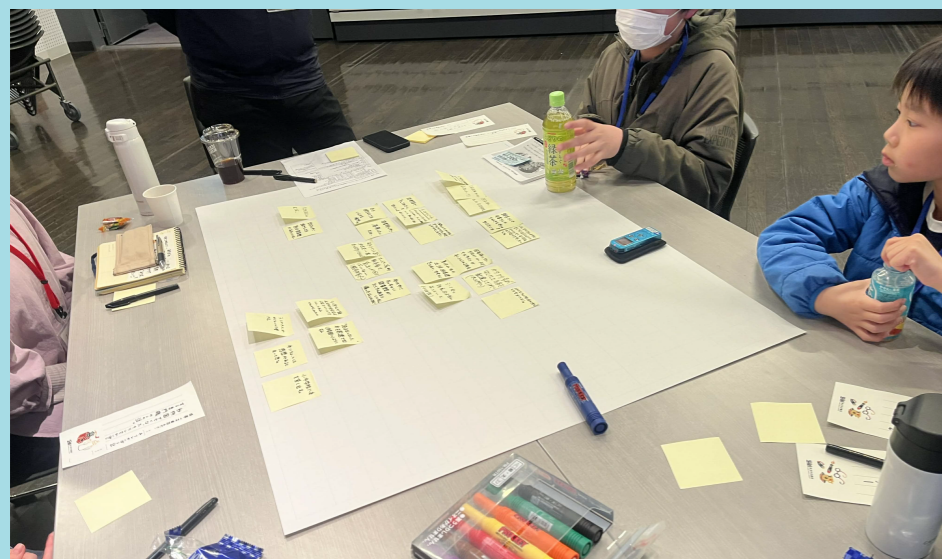
さよならかたくり号 ～これからの図書館を考える会～ 開催しました！

2026/03/01 (日)
佐比内公民館 5名

2026/03/04 (水)
水分公民館 10名

2026/03/01 (日)
オガール 11名

2026/03/04 (水)
赤石公民館 7名



小学生や、子育て中の方、かたくり号を30年以上も使っていた！という利用者さんも同じ席について「町や図書館に、あったらいいな」「図書館とこんなことできたらいいな」などなど語り合いました。

こんな声がありました

近くで本を借りたい・返したい

返すポストが近くにあるといいな
本返却場所がたくさんあるといいな
本を返す場所が近くにある（ポストのような）
佐比内地区にも返却ボックスがあるといい
返却できるポストがたくさんあるといい

移動図書館に来てほしい

必ずしもバスでなくとも民間のワゴン車を改造して再開できるといい
今まで通り近くに本を積んできてほしい
なかなか図書館に行けないので近くに来てほしい
平日昼以外にも移動図書館が来てほしい
公用車を活用した移動図書館
移動図書館が家の前まで来てほしい
たくさん並んでいる本の中から新しい発見をしたい。
かたくり号がなくなっても、決まったところに本を配達してほしい
ひづめの朝市のようなときに図書館のかたくり号が利用できるといい。
移動販売とセットで巡回してほしい
移動販売と一緒に本を貸出する
地域イベントに出張図書館を呼びたい
集中型から循環型になるといい

公民館が窓口・相談拠点になる

なんでも窓口が公民館にある
予約した本が公民館などで受け取れる
公民館でも本が借りられる
図書館からまとめて何冊かを水分公民館に回る
公民館でLINE相談・サポート
公民館に図書取り次ぎ所があるといい
公民館単位で1カ月に1回貸し出す場所を提供してほしい
公民館で借りたい本を受け取り・返却できる

場に合わせた情報提供

移動販売車と一緒に図書館がまわる
「とくし丸」（移動スーパー）に本を運んでもらう
地区公民館への出張図書館。公民館やみんなの集う場所（テーマ決めて）
公民館の書道教室や、産直・レストランなど人の集まる場所に設置
としょみちのえき
駅に鉄道の本がある、など
移動図書館で健康・獣害相談など
地域のおつまりに誰もが本を手にとることができるコーナーがあるといい
産直で季節の食材と一緒にレシピ本があると手に取りたくなる
スーパーなどの駐車場で貸し出しができればいいな
コンビニと連携する
人が集まる場所に移動図書館・出張図書室
夜間も空いていると仕事帰りに寄れそう
けいトラックのはんばいしゃをかつよう。

こんな声がありました

オンライン・デジタル・遠隔サービスがあるといいな

図書館HPでおすすめ本が検索できるといいな

オンラインで読み聞かせ

オンラインよみきかせ会

オンラインで本の紹介がある

オンラインで司書にレファレンスできたらいいな

探している本など、LINEで相談したい

頼んだ本が家に届くサービス（Amazonのようなイメージ?）

家にいながら電子書籍を借りられるといい

紫波町だけでなく近くの町の情報を入手できるといい

図書館で町内の歴史を学べるパソコン・タブレットがあるといい

本のマッチングアプリ

AIとか質問を重ねるとお勧めの本を出してくれるサービス

AIが本をすすめるサービスがあるといい

貸し出し用タブレットで書く個人宅でも読書できる環境があるといい

ネットで本を予約できるようにしてほしい

図書版Uberがあるといい

本の試着ができるといい

利用したい図書を郵送してもらえたら

冬は特に雪でいけないことが多いので郵送サービスがあったら助かる

電子図書のUI

電子図書に音声サービス、手話サービスを利用できるようにしてほしい

DAISY図書の充実

聞き書きしてまとめたものを音声などで披露してほしい

電子図書があるといつでも好きなときに読める！

図書館への交通手段があるといいな

巡回バスで図書館へ行ける

しわ丸号が常時利用しやすいといいな

図書館便のバスがあるときやすいかも

町のバスが送迎してくれる

図書館へいく乗り合いバスがある

集落ごとに時間決めて集合して乗れるといい

来られない人には理由がある

おためしでしわまるをつかってもらって図書館に連れていく

図書館へ来れない地域に住んでいる方々への本との出会いをなくさないでほしい

こんな声がありました

図書館と、やってみたい！

小・中学生が図書館のボランティアをする

図書館ボランティアとして図書館を応援したい！

図書館のお仕事体験をしたい

図書館でボランティア・お仕事体験したい！

町のイベントなどで、紙芝居など本の紹介をしたい

しわネットで、4コママンガじゃないけど、れんさいおはなしをかきたい

企画展示の公募があるといい

地域に本のある場所があるといい・つくりたい！

はじまりの学校図書室でみんなでしょ（地元の人が運営）

まちの色々なところに本棚がある

東部地区に図書館を設置。

各地区に図書室・文庫・分館ができる。

空き小屋を活用して、地域文庫があるといいな（ありんこ文庫のような）

よく行くお店に本棚あったらついでに貸出できる

地域のおつまりに本のコーナー（子ども～お年寄り）

団体貸出の周知をより広く…（自治公民館とか）

小さな本棚がいろいろな地域にある

本を伝える伝道師があちこちにいる

町のなかにちっちゃい図書館がたくさんあるといいな。偏ったジャンルOK！

図書館に行く手段がない子どもやお年寄りが本にふれられる機会がほしい

小規模でも、テーマ型の移動図書館があってもいいな

本を通じた交流をしたい

借りた本について話したり、発信したりして交流する

本がきっかけのコミュニケーション

本を持ち込んで、本の話ができる場所がほしい

いろんな方の体験、特に若い方たちが取り組んでいることを知りたい。

館長さんや司書さんの大好きな本たちを知りたい！

CD,DVDがすくないから、しょくいんさんおすすめのCD、DVDをおしえてほしい。

私のオススメコーナーを作る、情報発信する

地域に司書さんもしくはサポーターが来てくれる、またはいる

→本・貸出セットで持ってくる

トークイベントで、ゲストスピーカーがトークするのではなく、テーマについて参加者が語り合うイベントがあるといい

本にまつわるイベントがあるといい・ひらきたい！

本のフリーマーケット

本の交換会

持ち寄り図書館交換会

本づくりワークショップ

プレバト的俳句会・絵画会

本のリサイクルうけ入れ

自分の本をどこかに置きたい

自分の持っている本で差し上げたいものを提供する場所が欲しい

色んな人のオススメの本を知りたい

こんな声がありました

子ども・学生と本の接点をふやそう

高校に図書館が読み聞かせに行く

高校生・大学生のインターンを促す、募集する

若者向けの読書イベントを開く

読書マラソンを主催する

子どもたちの夏休み・冬休みの集う場所として図書館さんの協力で何か企画できるといい

移動図書館in学校

学校でかりに行く日がある

子どものための本の場をつくる（例：ありんこ文庫）宿題したり居場所になるような

学校への出張・相互貸借

子どもの遊び場に出張してほしい（支援センターなど）

子育ての本の中でもっと母親、父親に注目した本が欲しい

夏休み中の出張図書館（公民館や学童など）

他の学習施設にテーマ別図書室を置く（その場で貸し出し可能）

子供と本の接点が増えるといいなと思う

本を読んでいつまでも元気に！

施設に入所している人も利用できる機会があればいい

高齢者向けの読み聞かせもしてほしい。耳が聞こえないひともいるので本も届けてほしい

あったらいいな・できたらいいな

生演奏を聞きながら選書できたらいいな

図書館でキャンプ（合宿）みたいなのもできるといいな

古書の蔵書を増やしてほしい。

むかしのきょうかしよをかりられる(ニューホライズンなど)といいな

としょかんをまかいぞうしてまどうしょ

としょサウナ

としょカフェ

としょおんせん

てつどうの世界のじこくひょうをあつめたとしょ

本にこうさく

本にプロジェクター

本にワープそうち

図書館に直行できる駐車場があってほしい

図書館の中で昼寝したい

寝てもOKなところがあるといい

よぎぼーがある図書館

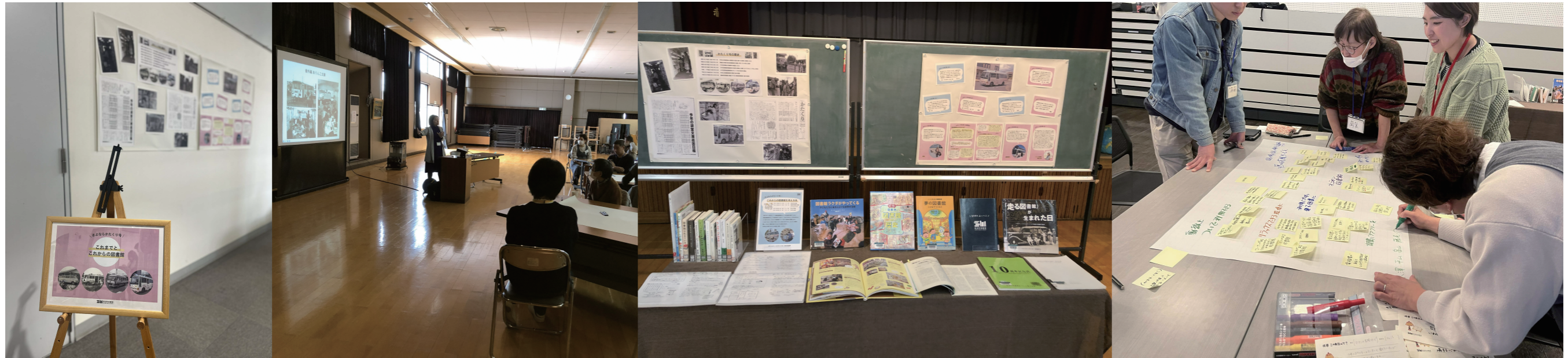
本を読まなくてもいられる場所

子どもがいよいよで騒いでしまったとき、落ち着かせる何か（ぬいぐるみ、パネル）があると助かる

子どもが一人で遊具に載って本が読めるところが欲しい

9時から開館してほしい

みなさまの貴重なご意見、ありがとうございました！



座談会当日、まずは移動図書館車かたくり号の約60年の歴史を振り返り、現在の取り組みについてお話をいただきました。その後参加者の皆さまやスタッフには、思い出の一冊とともに自己紹介をお願いしました。好きな本について懐かしそうに嬉しそうに語られる時間は微笑ましく、そこからグループでの意見交換は熱い盛り上がりを見せる場面もあり、時間はあっという間に過ぎていきました。

「地域の身近な場所で利用できるといい」「来館しなくても利用できるオンラインのサービスがあるといい」「図書館へ巡回する公共交通が欲しい」「図書館を魔改造したい」・・・などなど、飛び出したさまざまな声。その声の中で共通していたのは、そこに本があるだけでなく、本を通じた人との出会いや交流、人と情報をつなぐ存在、そして安心できる。そんな居場所が地域にあるといい、という思いだったように感じました。いただいた声の一つ一つはなかなか図書館だけで実現できるものではなく、町や地域の様々な方の力もお借りしながら、町民のみなさまの動きとともに育っていくものではないかと思います。

これからの図書館は、みなさまとともに何ができるでしょうか。考えながら進んでいくこれからの道のりも、引き続きどうぞよろしくをお願いします。